

令和 7 年 9 月 1 日

決 算 説 明

9 月 定 例 会 議

常 総 市



認定第1号 令和6年度常総市一般会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

まず、歳入につきましては、当初予算額2百34億円のところ、補正及び前年度からの繰越額を加えました予算現額は、2百78億8千2百46万3千54円であります。これは、前年度に比較いたしまして10億18万2百50円で3.7%の増となっております。この予算に対する歳入につきましては、2百75億6千3百83万7千9百13円の収入済額で98.9%の収入率であり、前年度に比較し、11億2千9百万1千3百51円の増となっております。また、調定額2百79億4千80万4千8百58円に対しまして98.7%の収入率で、3億5千4百77万8千5百99円の収入未済額を生じましたが、その主なものは、市税、諸収入等でございます。

なお、市税につきましては、2千2百18万8千3百46円の不納欠損処分を行った結果、収入未済額は、2億4千6百64万3千5百97円となり、その他の収入未済額とともに、滞納繰越分として翌年度へ繰越いたしました。

次に、歳出につきましては、支出済額2百60億6千8百49万3千7百18円で、執行率は93.5%となり、8億3千7百31万2千7百6円の不用額を生じました。不用額の主なものは、民生費の3億6千62万6千7円、教育費の1億3千6百75万1千3百86円などでございます。

以上、申し上げました歳入歳出決算の結果、差引残額は14億9千5百34万4千95円となりましたが、このうち2億2千3百12万2千6百30円は繰越明許費の財源であり、また108万1千円は事故繰越の財源となり、これを差し引いた12億7千14万5百65円を、令和7年度へ繰越いたしました。

以上が令和6年度の一般会計決算の概要でございます。

詳細につきましては、特別委員会におきましてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

認定第2号 令和6年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

まず、歳入につきましては、予算現額62億5千5百33万5千円に対し、調定額63億4千84万7千7百44円、収入済額60億7千9百64万6千14円でございます。予算現額に対する収入率は97.2%、調定額に対する収入率は95.9%でございます。

主なものは、国民健康保険税12億9千2百55万5千3百99円、県支出金41億5千5百18万6千7百42円、繰入金5億1千3百12万5千3百19円でございます。なお、国民健康保険税につきましては、2千9万6百79円の不納欠損処分を行いましたので、収入未済額は2億4千69万3千3百64円となり、滞納繰越分として翌年度へ繰越いたしました。

次に、歳出につきましては、予算現額62億5千5百33万5千円に対し、支出済額60億3千8百53万9千68円、不用額2億1千6百79万5千9百32円であります。予算現額に対する執行率は96.5%でございます。

主なものは、保険給付費40億5千5百53万4千11円、国民健康保険事業費納付金18億2千8百7万5千62円でございます。

歳入歳出差引残額は4千10万6千9百46円となり、これを令和7年度へ繰越いたしました。

認定第3号 令和6年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、予算現額17億2百71万1千円に対し、調定額16億8千5百32万5千5百82円、収入済額16億7千7百23万2千8百82円でございます。予算現額に対する収入率は98.5%、調定額に対する収入率は99.5%でございます。

主なものは、後期高齢者医療保険料7億2百29万4千9百60円、繰入金9億3千4百84万1千9百54円でございます。

歳出につきましては、予算現額17億2百71万1千円に対し、支出済額16億7千5百18万5千9百41円、不用額2千7百52万5千59円でございます。予算現額に対する執行率は98.4%でございます。

主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金16億2千3百85万5千7百94円でございます。

歳入歳出差引残額は2百4万6千9百41円となり、これを令和7年度へ繰越

しいたしました。

認定第4号 令和6年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、予算現額57億5千3百56万2千円に対し、調定額58億6百88万4千2百66円、収入済額57億6千9百36万8千7百66円でございます。予算現額に対する収入率は100.3%、調定額に対する収入率は99.4%でございます。

主なものは、保険料13億2千8万1千6百円、国庫支出金11億3千5百94万2千5百85円、支払基金交付金14億5百65万1千円でございます。

なお、保険料につきましては、1千56万5千円の不納欠損処分を行いましたので、収入未済額は2千6百75万3千百円となり、滞納繰越分として翌年度へ繰越しいたしました。

歳出につきましては、予算現額57億5千3百56万2千円に対し、支出済額56億3千8百8万8千5百87円、不用額1億1千5百47万3千4百13円でございます。予算現額に対する執行率は98.0%でございます。

主なものは、保険給付費51億4千百83万9千8百72円、総務費1億6千6百55万9千9百64円でございます。

歳入歳出差引残額は、1億3千百28万百79円となり、これを令和7年度へ繰越しいたしました。

認定第5号 令和6年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、予算現額2千3百42万4千円に対し、調定額、収入済額ともに2千3百88万6百18円で、予算現額に対する収入率は101.9%でございます。

主なものは、サービス収入1千5百44万8千百59円でございます。

歳出につきましては、予算現額2千3百42万4千円に対し、支出済額2千83万2千8百52円、不用額2百59万1千百48円でございます。予算現額に対する執行率は88.9%でございます。

歳入歳出差引残額は、3百4万7千7百66円となり、これを令和7年度へ繰越しいたしました。

以上が令和6年度特別会計決算の概要であります。

詳細につきましては、特別委員会におきましてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 9 月 1 日

水道事業会計決算説明

9 月 定 例 会 議

常 総 市



認定第6号 令和6年度常総市水道事業会計決算についてご説明申し上げます。

はじめに、決算報告書についてご説明申し上げます。

収益的収入につきましては、予算額の16億7百85万1千円に対し、決算額は15億7千百36万5百66円で、3千6百49万4百34円の減でございます。収益的支出につきましては、予算額の15億4千7百93万7千円に対し、決算額は14億8千4百65万4千5百81円で、6千3百28万2千4百19円の不用額が生じました。

次に、資本的収入につきましては、予算額の11億6千6百99万1千円に対し、決算額は5億4千8百76万4千円で、6億1千8百22万7千円の減でございます。資本的支出につきましては、予算額の16億百62万2千円に対し、決算額は9億1千9百74万3百3円、翌年度繰越額6億5千6百27万6千円を差し引きますと、2千5百60万5千6百97円の不用額が生じました。収入が支出に不足する額3億7千97万6千3百3円は、過年度損益勘定留保資金3億2千6百51万7千59円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4千4百45万9千2百44円で補填いたしました。

次に、損益計算書についてご説明申し上げます。営業収益は12億6千4百90万4千9百90円で、営業費用は13億4千6百50万4千4百46円でございます。営業外収益は1億7千9百98万2千9百59円で、営業外費用は5千5百82万6千14円で、収益から費用を差引いた当年度純利益は、4千2百55万7千4百89円となり、前年度繰越利益剰余金の3億4千96万2千6百42円を加算しますと、当年度末処分利益剰余金は、3億8千4百52万百31円となります。

次に、剰余金計算書についてご説明申し上げます。資本金の前年度末残高及び当年度末残高は42億4千25万5千15円で、前年と同額でございます。

また、剰余金のうち資本剰余金の当年度末残高は9千3百98万6千9百10円で、前年と同額でございます。

なお、利益剰余金のうち、建設改良積立金の当年度末残高は9千5百35万6千68円で、前年度末残高と同額でございます。未処分利益剰余金は、損益計算書のとおり、令和6年度末残高が3億8千4百52万百31円となっております。

次に、剰余金処分計算書についてご説明申し上げます。令和6年度末処分利益剰余金が3億8千4百52万百31円で、そのまま翌年度への繰越となります。

最後に、貸借対照表についてご説明申し上げます。資産の部では、固定資産が

109億7千4百50万7千6百50円、流動資産が16億8千22万1千4百57円で、資産の合計は126億5千5百72万9千7円となります。負債の部では、固定負債が33億4千2百43万7千円、流動負債が7億4百35万3千32円、繰延収益の合計は37億9千4百82万8百51円で、負債合計は78億4千61万9百83円でございます。資本の部では、資本金が42億4千25万5千15円、剰余金が5億7千3百86万3千9円で、負債資本の合計は126億5千5百72万9千7円となり、貸借は一致しております。

以上が令和6年度常総市水道事業会計決算の概要でございます。

詳細につきましては、特別委員会においてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

令和 7 年 9 月 1 日

下水道事業会計決算説明

9 月 定 例 会 議

常 総 市



議案第27号 令和6年度常総市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算についてご説明申し上げます。

はじめに、令和6年度常総市下水道事業会計未処分利益剰余金処分についてご説明申し上げます。

令和5年9月定例会議の議決を経まして未処分利益剰余金1億2千7百84万7千4百36円を減債積立金に積み立て、令和6年度に減債積立金の一部7千9百95万6千円を財源として、企業債の償還を行いました。今回、適切な資金管理の観点から、未処分利益剰余金の区分から資本金への組入れを行うもので、地方公営企業法の規定により議会の議決を求めるものです。

次に、令和6年度常総市下水道事業会計決算についてご説明申し上げます。

まず、決算報告書についてご説明申し上げます。

収益的収入につきましては、第1款 公共下水道事業収益では、予算額の10億5千3百73万2千円に対し、決算額は11億3千5百10万8千5百11円で、8千百37万6千5百11円の増、第2款 大生郷特定公共下水道事業収益では、予算額の1億7千9百4万5千円に対し、決算額は1億8千百42万3千6百77円で、2百37万8千6百77円の増、第3款 農業集落排水事業収益では、予算額の2億6千3百88万3千円に対し、決算額は2億6千6百42万9千6百71円で、2百54万6千6百71円の増でございます。

収益的支出につきましては、第1款 公共下水道事業費では、予算額の10億5千3百73万2千円に対し、決算額は10億3千2百76万9千8百96円で、2千96万2千百4円の不用額、第2款 大生郷特定公共下水道事業費では、予算額の1億7千9百4万5千円に対し、決算額は1億7千5百93万2千6百11円で、3百11万2千3百89円の不用額、第3款 農業集落排水事業費では、予算額の2億6千3百88万3千円に対し、決算額は2億5千7百41万1千8百79円で、6百47万1千百21円の不用額が生じました。

次に、資本的収入につきましては、第1款 公共下水道事業資本的収入では、予算額の20億2百56万8千円に対し、決算額は11億3千5百12万4千500円で、8億6千7百44万3千8百50円の減、第2款 大生郷特定公共下水道事業資本的収入では、予算額の8百37万5千円に対し、決算額は8百37万4千円で、1千円の減、第3款 農業集落排水事業資本的収入では、予算額の5千88万2千円に対し、決算額は同額の5千88万2千円でございます。資本的支出につきましては、第1款 公共下水道事業資本的支出では、予算額の

26億6千9百32万9千円に対し、決算額は16億3百90万4千2百65円、翌年度繰越が8億1千4百12万5千3百円で、2億5千百29万9千4百35円の不用額、第2款 大生郷特定公共下水道事業資本的支出では、予算額の2千9百36万7千円に対し、決算額は2千9百34万1千5百93円で、2万5千4百7円の不用額、第3款 農業集落排水事業資本的支出では、予算額の1億9百90万7千円に対し、決算額は1億9百90万6千9百12円で、88円の不用額が生じました。資本的収入額が資本的支出額に不足する額5億4千8百77万2千6百20円は、過年度損益勘定留保資金3億3千百8万8百28円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7千7百92万9千9百23円、当年度損益勘定留保資金5千9百80万5千8百69円及び減債積立金7千9百95万6千円で補填いたしました。

次に、損益計算書についてご説明申し上げます。営業収益は3億6千9百84万7百20円で、営業費用は13億2百1万4千2百98円でございます。営業外収益は10億9千5百27万9千8百円、営業外費用は1億2千4百18万8千6百71円、収益から費用を差引いた当年度純利益は、3千8百91万7千5百51円となり、前年度繰越利益剰余金5千6百44万4千8百80円及びその他未処分利益剰余金変動額7千9百95万6千円を加えた当年度未処分利益剰余金は1億7千5百31万8千4百31円となります。

次に、剰余金計算書についてご説明申し上げます。資本金の前年度末残高は15億9千7百83万9千78円、当年度変動額の6千5百万2千円を加えて、当年度末残高は16億6千2百84万1千78円でございます。

また、剰余金のうち資本剰余金の前年度末残高は7億4千4百22万2千7百60円、当年度変動額がございませんので、当年度末残高は同額の7億4千4百22万2千7百60円でございます。

次に、剰余金処分計算書（案）についてご説明申し上げます。冒頭にご説明さしあげましたとおり、令和6年度末の未処分利益剰余金の一部7千9百95万6千円につきまして、その全額を資本金へ組み入れるもので、未処分利益剰余金残高は9千5百36万2千4百31円となります。

最後に、貸借対照表についてご説明申し上げます。資産の部では、固定資産が2百91億7千3百88万3千6百96円、流動資産が7億2百52万8千9百96円で、資産の合計は2百98億7千6百41万2千6百92円となります。負債の部では、固定負債が103億9千6百36万1千6百33円、流動負債が8億5千6百66万7千6百4円、繰延収益の合計は159億9千3百10万

9千6百50円で、負債合計は2百72億4千6百13万8千8百87円でございます。資本の部では、資本金が16億6千2百84万1千百78円、剰余金が9億6千7百43万2千6百27円で、負債資本の合計は2百98億7千6百41万2千6百92円となり、貸借は一致しております。

以上が令和6年度常総市下水道事業会計決算の概要でございます。

詳細につきましては、特別委員会においてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。